

14 国産花きの生産・供給対策

【1,000(654)百万円】

対策のポイント

国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図るため、低温パッキング等によるコールドチェーンの構築、日持ち保証販売の普及、指導者向け花育研修を行うほか、平成32年のオリンピック・パラリンピック東京大会に向けた安定供給体制づくりを支援します。

<背景/課題>

- ・平成26年12月に施行された「花きの振興に関する法律」の理念の実現に向けて、国産花きの生産・供給体制の強化、輸出や需要拡大のための取組を推進し、国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図ることが必要です。
- ・また、真夏に開催される平成32年のオリンピック・パラリンピック東京大会で国産花きを安定的に供給するためには、盛夏期における生産技術等を早期に普及することが重要です。
- ・さらに、国産花きの輸出拡大を図るため、平成28年4月から開催されるトルコのアンタルヤ国際園芸博覧会に出展し、国産花きをアピールしていく必要があります。

政策目標

- 国産花きの産出額の拡大 (3,785億円(平成25年)→5,000億円(平成32年))
- 国産花き輸出額の増大 (96億円(平成25年)→150億円(平成32年))

<主な内容>

1. 国産花きイノベーション推進事業 837(532)百万円
国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図るため、低温パッキング等によるコールドチェーンを構築する取組や、流通・販売・用途の違いに基づく品目別の適切な日持ち保証日数を設定するための取組を支援するとともに、「花育」の指導力向上のための実践研修を実施します。
また、真夏に開催される平成32年のオリンピック・パラリンピック東京大会において、国産花きを安定的に供給する体制整備に向けた取組を強化するとともに、真夏でも弱らずに安定的に生育できる花壇や壁面緑化の管理技術を実証します。
補助率：定額、1/2以内
事業実施主体：協議会、民間団体等
2. トルコ・アンタルヤ国際園芸博覧会政府出展事業 163(121)百万円
トルコ・アンタルヤ国際園芸博覧会への政府出展における展示会場の運営・管理、品種コンテストへの展示、広報等を行います。
委託費
委託先：民間団体

(関連対策)

- 国産花きのシェア奪還・輸出拡大を支える研究開発(委託プロジェクト研究) 99(110)百万円
- 花きの国際競争力の強化に向け、①良日持ち性、高い病害抵抗性等民間企業の育種を下支えする基盤的形質を有する系統、②日持ち性向上のための鮮度保持剤等、③栽培施設の環境制御を低コスト化するための技術の開発・改良を行います。

委託費
委託先：民間団体等

お問い合わせ先：

生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室(03-6738-6162)
関連対策 技術会議事務局研究統括官(食料戦略、除染)
(03-3502-2549)

○国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図るため、国産花きの生産・供給体制の強化、輸出や需要拡大のための取組を推進。

国産花きイノベーション推進事業

【837(532)百万円】

【パーフェクトコールドチェーン等による国産花きの国内流通・輸出拡大の支援】(新規)



1 パーフェクトコールドチェーンの構築

国産花きの品質向上に向け、低温下での切り花のパッキング(箱詰め)や、輸送前に箱内部まで十分に冷気を取り入れる差圧予冷技術等を事業者が実証

2 盆栽等の消毒方法等の確立

輸出先国、品目毎に効率的な隔離栽培、消毒方法等を実証し、マニュアル化



【盛夏期における国産花きの安定供給に向けた取組支援】(拡充)

1 様々な種類の花を平成32年のオリンピック・パラリンピック東京大会で提供できるよう、切り花について、「夏季産地適応試験」を行う品目を拡充



2 真夏でも弱らずに安定的に生育できる花壇や壁面緑化の管理技術を実証し、その結果をセミナー等を通じて普及



【切り花の日持ち保証販売の普及に向けた取組支援】(拡充)

○流通・販売・用途の違いが日持ち性に与える影響を把握し、適切な日持ち保証日数を設定する等の取組を実施



【「花育」のレベルアップに向けた活動支援】(拡充)

1 各地の優れた花育活動を抽出し、その特長を分析するとともに、現役の教師や花き関係者を対象とした花育の実践研修等を実施



2 花育の更なる普及に向け、花き関係団体が連携した「花育月間」等の全国活動を推進

トルコ・アンタルヤ国際園芸博覧会政府出展事業(継続)

【163(121)百万円】

平成28年にトルコで開催される国際園芸博覧会の政府出展における展示会場の運営・管理等



(関連対策) 国産花きのシェア奪還・輸出拡大を支える研究開発

【99(110)百万円】

花きの国際競争力強化に向け、

- ①民間企業の育種を下支えする基盤的形質を有する系統
- ②日持ち性向上のための鮮度保持剤等
- ③栽培施設の環境制御を低コスト化するための技術の開発・改良



○ 日持ちの良いカーネーション新品種の育成

「ミラクルルージュ」(中央)は、既存品種(左及び右)がしおれた後も開花し続ける特性を保持(写真は18日経過後)